

2021年度全国大学病院輸血技師研究会

2021 年10 月7 日（木） 15：00～17：00

アクトシティ浜松 + Web 開催

当番校

名古屋大学

目次

1.	WEBでの技師研究会への参加方法	4
2.	2021年度 全国大学病院輸血技師研究会《次第》	6
3.	2020年度 全国大学病院輸血部会議 技師研究会 議事録要旨	7
4.	全国大学病院輸血技師研究会 役員名簿	10
5.	全国大学病院輸血部会議 技師研究会 令和2年度会計報告	12
6.	全国大学病院輸血部技師研究会 令和3年度予算案	13
7.	全国大学病院輸血技師研究会規約	14
8.	全国大学病院輸血技師研究会メーリングリスト（ML）運用ガイド	16
9.	全国大学病院輸血技師研究会 ブロック別施設一覧	19
10.	2021年度 全国大学病院輸血技師研究会 出席者名簿	20

WEB での技師研究会への参加方法

1. 技師研究会は、現地開催を予定していますが、併せて、Zoom ウェビナーを用いたライブ配信をいたします。現地におこしいただけない方には Zoom ウェビナーを用いてライブ配信いたします。後述する「視聴者」と「発表者・発言者（Zoom のパネリスト）」の 2 タイプの参加方法に分かれます。あらかじめ施設内で決定した事務局に登録した 1 名の投票者は、必ず「発表者・発言者」として参加してください。
2. ☆各会議・各タイプの Zoom 参加 URL は、本会議の 1 週間前にメールにて送付いたします。
URL が届かない場合は、事務局へご連絡ください： info@jstmct28.jp
○ 技師研究会 当日の緊急連絡先：080-4538-9271 輸血部会議事務局 加藤千秋
3. 技師研究会前に、必ずミーティング用 Zoom クライアント最新版をインストールしてください。
(ア) Zoom 最新版であるか確認する方法 <https://ncdc.co.jp/columns/6612/>
(イ) 最新版ダウンロードはこちらから <https://zoom.us/download>
※ 最新版でない場合、通信トラブルなどにより一部視聴困難になる場合があります。
※ Zoom の URL を、他の方に転送したり複数の PC やスマートフォン等からアクセスしたりすることのないようお願いします。
4. 会議への入室時間は本会議、技師研究会それぞれ開始時間の 20 分前からです。
第 3 会場 技師研究会開始時間：10 月 7 日 15 時 00 分から

視聴者として参加する場合

5. 「**視聴者**」は**マイクとビデオが使用できません**。会議を視聴すること、および「チャット」機能を用いて、文字による質問投稿ができます。視聴者は投票権を有しません。あらかじめ事務局に登録され、**投票を行う方は、次章の「発表者・発言者」の項目へお進みください**。
6. 入室方法
(ア) 事務局から事前に送付される 2.☆の Zoom ウェビナー URL（前述）にアクセスしてください。
(イ) ブラウザの上部に開くウィンドウ内の「Zoom Meeting を開く」ボタンを押すと、Zoom アプリが起動します。
(ウ) 参加登録時と同じ**電子メールアドレスと名前（名前：施設名）**を入力し、「Web セミナーに参加」をクリックします。「視聴者」の場合、これらの情報は参加後には修正できません。もし、修正が必要な場合は一旦退出し、再入室をお願いします。

発表者・発言者（Zoom 上のパネリスト）として参加する場合

7. 発表者・発言者・投票者（施設代表者）
(ア) 「発表者・発言者＝パネリスト」は、マイクとビデオが使用できます。会議を視聴すること、および「チャット」と「Q&A」で文字による質問投稿ができます。

(イ) **1施設に1票の投票者を含みます。**あらかじめ施設内で投票者1名を決定しておいてください。投票の際には、投票者のみが投票を行ってください。

8. 入室方法

(ア) 事務局から事前に送付される2.☆のZoomウェビナーURLにアクセスしてください。Zoomウェビナーのパネリスト参加の個別招待URLであることにご留意ください。

※視聴者用URLから参加されないようご注意ください。

(イ) アクセス後は、画面に表示される指示に従い必要項目を入力・登録してください。

必要項目：名前、施設名・職種、参加登録メールアドレス

既にZoomをご使用の場合はスキップされることがあります。

(ウ) ブラウザの上部に開くウィンドウ内の「Zoom Meetingを開く」ボタンを押すと、Zoomアプリが起動します。

(エ) ご自身のサムネイルの上にマウスを移動すると、ご自身の参加名が表示されるので、確認します。正しく入力できていない場合は、サムネイルの右肩にある「…」をクリックし、「名前を変更」を選択して正しい「名前・施設名」へ修正してください。

(オ) ビデオは常時ON（顔出し）でお願いします。

9. 参加環境

(ア) 生活雑音のない静かな環境でご参加ください。

(イ) LANケーブル接続を推奨します。Wi-Fi接続は十分な強度を確認してください。

(ウ) 一つの部屋で複数のPCから参加する場合、近くの他の参加者のPCのスピーカー音をマイクが拾うとハウリングが起きます。他の参加者にはイヤホンまたはヘッドセットを使用し音が漏れないようにしてもらってください。

(エ) 指示を受けたとき以外は、音声のミュートを解除しないでください。音声は視聴者全員にながれ、会の運営の妨げとなります。

(オ) 稀なケースとは思いますが、ストリーミングサイト等から動画を受信しながら、再配信すると、PCとネットワークの両負担となり、円滑な配信が困難になることがあります。LANケーブル接続したPC内においた動画ファイルを再生し、配信してください。また、非力なPCは避け、高性能PCを用いてください。

10. 発表・発言の場合

(ア) 「手を挙げる」のマークをクリックし、議長の指示を待ってミュートを解除し、施設名と名前を名乗ってから発言してください。Zoomの挙手は、リアクションボタンの中の「手を挙げる」のマークをクリックして行います。あるいは「チャット」に意見をご記入ください。

(イ) 発表・発言時は、ミュートを解除し、資料あるいはスライドを提示する際は、Zoomの画面共有機能を用いてください。発表・発言後は必ずミュートにしてください。

2021 年度全国大学病院輸血技師研究会 《次第》

日時：2021年10月7日（木）15：00～17：00 @アクトシティ浜松+Zoom会議

1. 開会の挨拶 (15：00～15：05)
 - 1) 技師研究会代表挨拶 東京医科歯科大学 大友直樹
 - 2) 当番校技師代表挨拶 名古屋大学 加藤千秋

2. 協議事項 (15：05～15：20)
 - 1) 2020年度技師研究会議事録について
 - 2) 役員の選任について
 - 3) 会計報告
 - 4) 事業計画（案）について

3. 報告事項 (15：20～16：45)
 - 1) 各種アンケート調査報告
 - ① 「赤血球型検査（赤血球系検査）ガイドライン（改訂3版）に関する事項」 東海大学 杉本達哉
 - ② 輸血細胞治療部門におけるタスクシフト/タスクシェア 東京医科歯科大学 大友直樹
 - ③ 輸血部門以外での輸血検査業務および血液製剤運用 名古屋市立大学 南里隆憲
 - ④ 細胞凍結保存業務 京都大学 万木紀美子
 - ⑤ 遡及調査用検体保管に関する調査 藤田医科大学 松浦秀哲
 - 2) 業務量アンケート集計報告 藤田医科大学 松浦秀哲

4. 周知事項 (16：45～16：55)
 - 1) 技師研究会メーリングリスト運用ガイドおよびメンバー登録について 東京医科歯科大学 大友直樹

次期当番校の挨拶 東京大学医科学研究所

尾上和夫

2020 年度全国大学病院輸血部会議 技師研究会 議事録要旨

日時：2020 年 10 月 22 日（木）15：00～17：00 @Zoom 会議

作成：庶務担当 福吉葉子（熊本大学）

出席：98 大学 欠席：3 大学（詳細は技師研究会資料）

記

1. 開会の挨拶

1) 技師研究会代表挨拶

技師研究会代表 東京医科歯科大学 大友氏より開会の挨拶があった。

2) 当番校挨拶

三重大学 森口氏より挨拶があった。

恒例に従い、開催校の三重大学 森口氏を議長に選出し認められた。

2. 協議事項

1) 2019 年度技師研究会議事録について

熊本大学 福吉氏より配布資料記載の議事録要旨の修正箇所（2 か所）の修正した上で、最終議事要旨とすることの承認を得た。

2) 規約改定について

技師研究会代表大友氏より、輸血部会議代表幹事である松本先生より技師研究会を今年度の輸血部会議において、正式に輸血部会議下部組織として承認するため規約整備の要請を受け改定を行うに至った経緯が説明された。

規約改定詳細については、配布資料を参照。新規約は、2020 年 11 月 1 日より施行予定。役員任期は、選出された総会の翌月から翌々年の総会の開催月までとし、2020 年 11 月 1 日現在の役員については、翌年の総会の開催月までとする。

以上、規約改定について承認を得た。

3) 役員を選任について

2020 年 4 月に異動となった、会計役員の小嶋氏の後任に東京大学の名倉氏が渉外担当と兼任で選任された。また、今年度 3 月定年予定である渉外担当ならび私立大学担当の関西医科大学の大西氏の後任に兵庫医科大学の池本氏、東海北陸ブロック代表の道野氏の後任に福井大学の海老田氏が選任された。関東甲信越ブロックの施設が多数のため、3 ブロックに分けることとなり、北関東信越ブロック代表に信州大学の小嶋氏、南関東山梨ブロック代表に東海大学の杉本氏、東京ブロックの東京医科大学八王子医療センターの嘉成氏が選出され承認された。

4) 会計報告及び会計の取り扱いについて

会計担当役員東京大学の名倉氏より 2019 年（令和元年）の会計報告がなされた。

収入の部（前年度繰越金 15 万 8,581 円、利息 0 円、懇親会参加費 0 円）、支出の部 0 円、差額残高 15 万 8,581 円は繰越しとする。会計監査担当の三重大学 森口氏が会計監査を行い、問題ない

ことを報告し承認された。

技師研究会代表大友氏より規約改定に伴い、輸血部会議と技師研究会の会計が一本化することとなり、技師研究会の残高 15 万 8,581 円は、輸血部会議の事務局へ繰り入れる。今後、技師研究会に必要な経費については、輸血部会議の会計より捻出してもらうことになる旨の説明があり、承認を得た。

5) メーリングリストについて

技師研究会代表大友氏より、現在輸血部会議のメーリングリストはあるが、技師研究会用のメーリングリストがないため、情報共有を目的として技師研究会用のメーリングリストを立上げ活用していく提案がなされ、承認を得た。

初期登録メンバー（施設代表技師 1 名）を登録予定である旨報告された。

3. 特別講演「技師研究会の歩み」 技師研究会 30 周年記念

旭川医科大学 友田氏より技師研究会 30 年の歩みについての講演

4. 報告事項

1) 業務量アンケート集計報告

藤田医科大学 松浦氏より本会議前に業務量アンケートの結果について、資料に沿って詳細な報告がされた。今回は、次年度より参加予定大学を含む 102 施設より得た回答を集計した。（回収率 100%）報告内容に修正がある場合は、申し出るように依頼がされた。また、本アンケート調査結果はパスワード付きのファイルとしてダウンロード可能とする（パスワードは、研究会会場にて公表）。

2) 各種アンケート調査報告

①夜間・休日における FFP 融解に関する調査

富山大学 道野氏より夜間・休日における FFP 融解に関するアンケート調査結果が報告された。回答施設 76（回答率 75.2%）

②希釈式自己血輸血の運用に関する調査

名古屋市立大学 可児氏より希釈式自己血輸血の運用に関するアンケート調査結果が報告された。回答施設 71（回答率 71.3%）

③大学病院における大量輸血に関する調査

東京医科歯科大学 相川氏より大学病院における大量輸血に関するアンケート調査結果が報告された。回答施設 64（回答率 64%）

④不規則抗体検査算定に関する調査

岡山大学 浅野氏より不規則抗体検査算定に関するアンケート調査結果が報告された。回答施設 66（回答率 66%）

3) 他施設共同研究報告

①赤血球製剤輸血後の赤血球不規則抗体発現に関する共同研究の経過報告

浜松医科大学 藤原氏より「赤血球製剤輸血後の赤血球不規則抗体発現に関する共同研究」の研究目的、研究方法、解析の中間報告と目標症例 500 症例のため、研究参加協力要請がなされた。

②抗 CD38 治療に関わる輸血検査上の問題点の抽出とその対処法に関する共同研究の経過報告
浜松医科大学 山田氏より抗 CD38 治療に関わる輸血検査上の問題点の抽出とその対処法に関する共同研究の経過報告がされた。アンケート調査協力施設への謝辞と継続して本研究への協力要請がなされた。

③アジアにおける赤血球不規則抗体に関する共同研究の結果報告
浜松医科大学 山田氏より「アジアにおける赤血球不規則抗体に関する共同研究」の結果報告として、不規則抗体に関する日本とアジア共同研究の論文の Transfusion and Apheresis Science への掲載報告と、抗原陽性血輸血に関する共同研究の論文の VoxSanguinis への掲載報告がなされた。研究協力施設への謝辞と今後は「赤血球製剤輸血後の不規則抗体陽転化に関する前方向多施設共同研究」への協力要請がなされた。

5. 周知事項

1) 輸血前患者認証に関する実態調査の発案と参加登録のお願い

浜松医科大学 山田氏より輸血前患者認証に関する実態調査の目的、調査項目、参加登録方法について説明がなされた。

2) 日本輸血・細胞治療学会輸血検査精度管理調査実施の説明と協力要請

東邦大学 日高氏より本輸血・細胞治療学会輸血検査精度管理調査実施の目的、実施予定（大学輸血部会議参加施設：2021 年度～、日本・輸血細胞治療学会会員施設：2022 年～）参加費用、検査項目、評価方法、申込み方法、回答方法についての説明と参加協力の要請がされた。東海大学の杉本氏より精度管理実施の正式な案内時期について質問があり、日高氏より 2021 年 4 月との回答がなされた。

慶応大学上村氏より、Rh その他の因子も精度管理の検査項目に入れて欲しいとの要望に対し、日高氏より検討して追加していきたいとの回答がなされた。

3) 新・輸血製剤発注システムの展開について

日本赤十字社 杉山氏より、新・輸血製剤発注システムの要望に対する改善点と新たな機能についての説明とシステム開始の案内がされた。

6. 次期当番校の挨拶

次期当番校の挨拶 名古屋大学の加藤千秋技師が挨拶を行った。
浜松で開催予定であることの告知がされた。

以上

全国大学病院輸血技師研究会 役員名簿

(2020-2021年度)

役職	氏名	所属
代表	大友直樹	東京医科歯科大学
副代表	上村知恵	慶應義塾大学
副代表	岸野光司	自治医科大学
庶務	福吉葉子	熊本大学
会計	名倉豊	東京大学
渉外	池本純子	兵庫医科大学
渉外	名倉豊	東京大学
アンケート担当	松浦秀哲	藤田医科大学
私立大学担当	上村知恵	慶應義塾大学
私立大学担当	池本純子	兵庫医科大学
＜ブロック代表＞		
北海道東北ブロック	村井良精	札幌医科大学
北関東信越ブロック	小嶋俊介	信州大学
南関東山梨ブロック	杉本達哉	東海大学
東京ブロック	嘉成孝志	東京医科大学
東海北陸ブロック	海老田ゆみえ	福井大学
近畿ブロック	万木紀美子	京都大学
中国四国ブロック	李悦子	徳島大学
九州ブロック	福吉葉子	熊本大学
2021年度当番校	加藤千秋	名古屋大学
(相談役)	山田尚友	佐賀大学

2020.10.22

全国大学病院輸血技師研究会 役員名簿

(2021-2022年度)

役職	氏名	所属
代表	大友直樹	東京医科歯科大学
副代表	上村知恵	慶應義塾大学
副代表	岸野光司	自治医科大学
庶務	福吉葉子	熊本大学
会計	名倉豊	東京大学
渉外	池本純子	兵庫医科大学
渉外	名倉豊	東京大学
アンケート担当	松浦秀哲	藤田医科大学
私立大学担当	鳥海綾子	慶應義塾大学
私立大学担当	池本純子	兵庫医科大学
＜ブロック代表＞		
北海道東北ブロック	村井良精	札幌医科大学
北関東信越ブロック	小嶋俊介	信州大学
南関東山梨ブロック	杉本達哉	東海大学
東京ブロック	嘉成孝志	東京医科大学
東海北陸ブロック	海老田ゆみえ	福井大学
近畿ブロック	万木紀美子	京都大学
中国四国ブロック	土居靖和	愛媛大学
九州ブロック	福吉葉子	熊本大学
2022年度当番校	尾上和夫	東大医科学研究所
(相談役)	山田尚友	佐賀大学

2021.10.7

全国大学病院輸血部会議 技師研究会 令和2年度会計報告

全国大学病院輸血部会議 技師研究会 令和2年度会計報告

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

令和3年9月17日

収入

項目	予算額	決算額	備考
繰越金	158,581	158,581	
利息	0	0	
合計	158,581	158,581	

支出

項目	予算額	決算額	備考
・大学病院輸血部会議 への会計統合	158,581	158,031	
・手数料		550	
合計	158,581	158,581	

収支決算

収入総額	支出総額	差引残高(繰越)
158,581	158,581	0

上記の通り、適正に会計処理がなされていることを確認いたしました。

令和3年9月17日

監事

加藤千秋



全国大学病院輸血技師研究会 令和3年度予算案

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

令和3年9月17日

収入

項目	予算額	備考
事業費	100,000	全国大学病院輸血部会議より
合計	100,000	

支出

項目	予算額	備考
研修会費	45,000	
講習会費	45,000	
雑費	10,000	
合計	100,000	

全国大学病院輸血技師研究会規約

平成18（2006）年10月3日制定

2020年10月22日改定

〈名称〉

第1条 本会の名称を「全国大学病院輸血技師研究会」とする。

〈目的〉

第2条 本会は全国大学病院輸血部会議（以下輸血部会議）の下部組織として、輸血及び細胞治療に関する業務を安全かつ円滑に進めるために、相互の交流を図り業務の向上に役立てると共に調査及び研究を行い、輸血医療及び細胞治療に資することを目的とする。

〈組織〉

第3条 本会は、全国の国立、公立、私立の大学病院（分院及び医学部附属病院を含む、以下大学病院という）の輸血細胞治療部門に属する臨床検査技師により構成する。

〈活動内容〉

第4条 本会の目的を達成するため以下の活動を行う。

- (1) 大学病院輸血細胞治療部門の業務に関する調査及び研究
- (2) 血液製剤に関する調査情報収集及び研究
- (3) 細胞治療関連業務に関する調査情報収集及び研究
- (4) その他本会の目的を達成するために必要な活動

〈役員〉

第5条 本会に以下の役員を置く。

- (1) 代表及び副代表
- (2) ブロック代表
- (3) その他の必要な役員

第5条の2 役員は研究会総会で選任する。

第5条の3 役員の任期は1期2年とし再任を妨げない。

〈研究会総会〉

第6条 本会の目的達成のため年1回の輸血部会議に合わせて研究会総会を開催する。役員はその年度の当番病院（輸血部会議主催病院）と密接な連絡をとりながら、研究会総会を主催する。

第6条の2 研究会総会は出席者の中から議長を選出し次に掲げる事項を協議する。

- (1) 活動計画、活動報告に関する事項
- (2) 会計収支に関する事項

- (3) 役員の選任及び解任に関する事項
- (4) 規約等の改廃に関する事項
- (5) その他本会の活動に関する事項

〈ワーキンググループ等〉

第7条 本会の目的のために必要と認めたワーキンググループ等を別に設置することができる。ワーキンググループ等の内規は別に定める。

〈事務局〉

第8条 本会の運営を円滑にするため事務局を設ける。

〈委任〉

第9条 この規約に定めるもののほか必要な事項は、総会の議決を経て代表が別に定める。

〈その他〉

第10条 この規約の改廃は、研究会総会の議を経るものとする。

付則

- 1 この規約は、研究会の議決を経て改定する。
- 2 この規約は、平成18年10月3日から施行する。

付則（2020年10月22日制定）

- 1 この規約は、2020年11月1日から施行する。
- 2 役員の任期は選出された総会の翌月から始まり次々年度の総会開催月までとする。ただし施行日に役員であった者の任期は翌年の総会開催月までとする。

全国大学病院輸血技師研究会メーリングリスト（ML）運用ガイド

2021 年10 月 改訂版
(2021 年9 月17 日役員会承認)

=全国大学病院輸血技師研究会メーリングリスト（ML）運用ガイド=

<メーリングリスト設置の目的>

本研究会規約に則り、「輸血及び細胞治療に関する業務を安全かつ円滑に進めるために、相互の交流を図り業務の向上に役立てると共に調査及び研究を行い、輸血医療及び細胞治療に資することを目的」として技師研究会メーリングリスト（ML）を設置する。

<MLメンバー>

- 1) 全国大学病院輸血部会議参加施設の輸血・細胞治療部門に所属する臨床検査技師で**あり日本輸血・細胞治療学会の会員**であること
 - 2) 登録・削除の申請は施設代表技師が申請フォームにより行うこと※
(申請期間：毎年2 月から4 月)
- ※ 登録人数は各施設3 名程度までとする

<発信時のルール>

- 1) 発信時には本名・所属を記載すること
- 2) 新たな話題を発信する際は分かりやすく件名を記載すること（返信時は件名を変更せず発信）
- 3) ML 以外からの情報を転載する場合には発信元に転載の可否を照会すること

<禁止事項>

- 1) 私信で利用すること
- 2) 営利目的で利用すること
- 3) 技師研究会未承認の調査等で利用すること*1
- 4) 誹謗中傷、公序良俗に反する書き込みすること*2
- 5) ML の話題を他のメディアへ公表すること（知人への口外含む）
- 6) ML に登録していないアドレスへ転送すること
- 7) アンケート・調査等の返信先に指定すること

*1 調査等で利用する場合には“輸血部会議ホームページ”専用フォームをダウンロードして渉外担当に申請してください。

*2 該当メールの送信者アドレスを特定し技師研究会ML から登録を外すこととなります。またその理由によっては、日本輸血・細胞治療学会会員の資格(認定資格など)も理事運営委員会で審議し、はく奪することになると思われま

初版発行：2021 年 1 月

全国大学病院輸血技師研究会メーリングリスト（ML）運用ガイド（改訂案）

2021 年10 月 改訂版
(2021 年9 月17 日役員会承認)

=全国大学病院輸血技師研究会メーリングリスト（ML）運用ガイド=

<メーリングリスト設置の目的>

本研究会規約に則り、「輸血及び細胞治療に関する業務を安全かつ円滑に進めるために、相互の交流を図り業務の向上に役立てると共に調査及び研究を行い、輸血医療及び細胞治療に資することを目的」として技師研究会メーリングリスト（ML）を設置する。

<MLメンバー>

- 1) 全国大学病院輸血部会議参加施設の輸血・細胞治療部門に所属する臨床検査技師であること
 - 2) 登録・削除の申請は施設代表技師が申請フォームにより行うこと※
(申請期間：毎年2 月から4 月)
- ※ 登録人数は各施設3 名程度までとする

<発信時のルール>

- 1) 発信時には本名・所属を記載すること
- 2) 新たな話題を発信する際は分かりやすく件名を記載すること（返信時は件名を変更せず発信）
- 3) ML 以外からの情報を転載する場合には発信元に転載の可否を照会すること

<禁止事項>

- 1) 私信で利用すること
- 2) 営利目的で利用すること
- 3) 技師研究会未承認の調査等で利用すること*1
- 4) 誹謗中傷，公序良俗に反する書き込みすること*2
- 5) ML の話題を他のメディアへ公表すること（知人への口外含む）
- 6) ML に登録していないアドレスへ転送すること
- 7) アンケート・調査等の返信先に指定すること

*1 調査等で利用する場合には“輸血部会議ホームページ”専用フォームをダウンロードして渉外担当に申請してください。

*2 該当メールの送信者アドレスを特定し技師研究会ML から登録を外すこととなります。またその理由によっては、日本輸血・細胞治療学会会員の資格(認定資格など)も理事運営委員会で審議し、はく奪することになると思われます。

初版発行：2021 年1 月

本調査依頼対象は「技師研究会 ML 登録者」となります。本依頼書を提出する前にご確認をお願いします。

- ・調査を依頼する場合、下記の項目を入力し、本依頼書と関連資料をあわせて調査依頼先までメールで送付ください。
- ・調査対応の可否については技師研究会または技師研究会役員会にて審議します。

依頼日

依頼者情報

氏名

所属

メールアドレス

依頼内容（以下内容の記載または以下の調査内容を含めて別紙を添付すること）

目的

調査方法

調査内容

調査期間

集計

方法

提示先

倫理委員会申請の有無

- ・倫理委員会申請済み 承認番号 _____
- ・倫理委員会申請中
- ・倫理委員会申請なし

<調査依頼先>

技師研究会・渉外担当

東京大学医学部附属病院 輸血部 名倉 豊 (NAGURA-LAB@h.u-tokyo.ac.jp)

兵庫医科大学病院 輸血・細胞治療センター 池本純子 (jun-y@hyo-med.ac.jp)

全国大学病院輸血技師研究会 ブロック別施設一覧

2021年10月7日 現在

<p>北海道・東北ブロック</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 北海道大学病院 2 旭川医科大学病院 3 弘前大学医学部附属病院 4 東北大学病院 5 秋田大学医学部附属病院 6 山形大学医学部附属病院 7 札幌医科大学附属病院 8 福島県立医科大学附属病院 9 岩手医科大学附属病院 10 東北医科薬科大学病院 11 福島県立医科大学会津医療センター 	<p>北関東信越ブロック</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 筑波大学附属病院 2 群馬大学医学部附属病院 3 新潟大学医歯学総合病院 4 信州大学医学部附属病院 5 防衛医科大学校病院 6 自治医科大学附属病院 7 自治医科大学附属さいたま医療センター 8 獨協医科大学病院 9 埼玉医科大学病院 10 埼玉医科大学総合医療センター 11 埼玉医科大学国際医療センター 12 東京医科大学茨城医療センター 13 獨協医科大学埼玉医療センター 	<p>南関東山梨ブロック</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 千葉大学医学部附属病院 2 山梨大学医学部附属病院 3 横浜市立大学附属病院 4 北里大学病院 5 昭和大学藤が丘病院 6 帝京大学ちば総合医療センター 7 東海大学医学部附属病院 8 東京女子医科大学八千代医療センター 9 聖マリアンナ医科大学病院 10 横浜市立大学附属市民総合医療センター 11 東京慈恵会医科大学附属柏病院 12 東邦大学医療センター佐倉病院 13 順天堂大学医学部附属浦安病院 14 昭和大学横浜市北部病院 15 帝京大学医学部附属溝口病院
<p>東京ブロック</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 東京大学医学部附属病院 2 東京大学医科学研究所附属病院 3 東京医科歯科大学病院 4 杏林大学医学部付属病院 5 慶応義塾大学病院 6 順天堂大学医学部附属順天堂医院 7 昭和大学病院 8 帝京大学医学部附属病院 9 東京医科大学病院 10 東京医科大学八王子医療センター 11 東京慈恵会医科大学附属病院 12 東京女子医科大学病院 13 東邦大学医療センター大森病院 14 東邦大学医療センター大橋病院 15 日本医科大学付属病院 16 日本大学医学部附属板橋病院 17 順天堂大学医学部附属練馬病院 18 東海大学医学部付属八王子病院 	<p>東海・北陸ブロック</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 金沢大学附属病院 2 岐阜大学医学部附属病院 3 名古屋大学医学部附属病院 4 三重大学医学部附属病院 5 浜松医科大学医学部附属病院 6 富山大学附属病院 7 福井大学医学部附属病院 8 名古屋市立大学病院 9 金沢医科大学病院 10 愛知医科大学病院 11 藤田医科大学病院 12 順天堂大学医学部附属静岡病院 	<p>近畿ブロック</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 京都大学医学部附属病院 2 天阪大学医学部附属病院 3 神戸大学医学部附属病院 4 滋賀医科大学医学部附属病院 5 京都府立医科大学附属病院 6 大阪市立大学医学部附属病院 7 奈良県立医科大学附属病院 8 和歌山県立医科大学附属病院 9 大阪医科薬科大学病院 10 関西医科大学附属病院 11 関西医科大学総合医療センター 12 近畿大学病院 13 兵庫医科大学病院
<p>中国四国ブロック</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 鳥取大学医学部附属病院 2 岡山大学病院 3 広島大学病院 4 山口大学医学部附属病院 5 徳島大学病院 6 愛媛大学医学部附属病院 7 島根大学医学部附属病院 8 高知大学医学部附属病院 9 香川大学医学部附属病院 10 川崎医科大学附属病院 	<p>九州ブロック</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 九州大学病院 2 長崎大学病院 3 熊本大学病院 4 鹿児島大学病院 5 琉球大学病院 6 宮崎大学医学部附属病院 7 佐賀大学医学部附属病院 8 大分大学医学部附属病院 9 久留米大学病院 10 福岡大学病院 11 産業医科大学病院 	

太字下線：ブロック代表の在籍施設

2021年度 全国大学病院輸血技師研究会 出席者名簿

施設名	出席者 (太字：現地参加者)		
北海道大学病院	渡邊 千秋		
旭川医科大学病院	友田 豊	佐渡 正敏	
弘前大学医学部附属病院	金子 なつき		
東北大学病院	成田 香魚子	関 修	
秋田大学医学部附属病院	佐藤 郁恵		
山形大学医学部附属病院	奈良崎 正俊	石山 裕子	
筑波大学附属病院	新井 裕介		
群馬大学医学部附属病院	丸橋 隆行		
千葉大学医学部附属病院	長谷川 浩子	山本 浩子	
東京大学医学部附属病院	名倉 豊	川端 みちる	
東京大学医科学研究所附属病院	尾上 和夫	高橋 敦子	
東京医科歯科大学病院	大友 直樹	相川 佳子	
新潟大学医歯学総合病院	上村 正巳		
金沢大学附属病院	佐藤 英洋		
山梨大学医学部附属病院	原 順一		
信州大学医学部附属病院	小嶋 俊介	宇佐美 陽子	
岐阜大学医学部附属病院	浅野 栄太		
名古屋大学医学部附属病院	加藤 千秋	渡邊 友美	竹腰 正広
三重大学医学部附属病院	角屋 佳苗		
京都大学医学部附属病院	万木 紀美子		
大阪大学医学部附属病院	清川 知子		
神戸大学医学部附属病院	早川 郁代		
鳥取大学医学部附属病院	畑山 祐輝		
岡山大学病院	浅野 尚美		
広島大学病院	野間 慎尋		
山口大学医学部附属病院	渡邊 理香		
徳島大学病院	李 悦子		
愛媛大学医学部附属病院	土居 靖和		
九州大学病院	藤野 恵子		
長崎大学病院	古賀 嘉人		
熊本大学病院	福吉 葉子	和木 由希美	
鹿児島大学病院	江口 奈津希		
琉球大学病院	石垣 永夢歌		
浜松医科大学医学部附属病院	石塚 恵子		
滋賀医科大学医学部附属病院	内林 佐知子		
宮崎大学医学部附属病院	竹ノ内 博之		
富山大学附属病院	富山 隆介		
島根大学医学部附属病院	兒玉 るみ		
高知大学医学部附属病院	西 満子		
佐賀大学医学部附属病院	山田 麻里江	山田 尚友	
大分大学医学部附属病院	岩男 千恵子	古賀 紳也	
福井大学医学部附属病院	海老田 ゆみえ		
香川大学医学部附属病院			
防衛医科大学校病院	坂口 武司		
札幌医科大学附属病院	村井 良精		
福島県立医科大学附属病院	皆川 敬治	渡邊 万央	
横浜市立大学附属病院	原田 佐保		
名古屋市立大学病院	南里 隆憲		
京都府立医科大学附属病院	笹田 裕司		
大阪市立大学医学部附属病院	藤野 恵三		
奈良県立医科大学附属病院	長谷川 真弓	下村 志帆	

施設名	出席者 (太字：現地参加予定)		
和歌山県立医科大学附属病院	富坂 竜矢		
岩手医科大学	高館 潤子		
自治医科大学附属病院	岸野 光司	大槻 郁子	
自治医科大学附属さいたま医療センター	武関 雄二		
獨協医科大学病院	篠原 茂	山川 朋世	
埼玉医科大学病院	山田 攻		
埼玉医科大学総合医療センター	野呂 光恵		
埼玉医科大学国際医療センター	棚澤 敬志		
北里大学病院	内山 杏奈	岩切 文子	
杏林大学医学部付属病院	小島 直美		
慶應義塾大学病院	上村 知恵	鳥海 綾子	
順天堂大学医学部附属順天堂医院	中村 裕樹	降田 喜昭	
昭和大学病院	田原 佐知子		
昭和大学藤が丘病院	深井 奈々		
帝京大学医学部附属病院	藤原 孝記	犬塚 紀子	
帝京大学ちば総合医療センター	山本 喜則		
東海大学医学部付属病院	杉本 達哉	池田 瞳	
東京医科大学病院	市川 喜美子		
東京医科大学八王子医療センター	関戸 啓子	嘉成 孝志	
東京慈恵会医科大学附属病院	堀口 新悟		
東京女子医科大学病院	岡田 真一		
東京女子医科大学八千代医療センター	杉野 智広		
東邦大学医療センター大森病院	奥田 誠	日高 陽子	
東邦大学医療センター大橋病院	高橋 茂勝		
東京医科大学茨城医療センター	下野 真義		
日本医科大学付属病院	小川 早恵子		
聖マリアンナ医科大学病院	井野 ちさと	佐藤 千晶	
金沢医科大学病院	岡本 彩	山口 大介	
愛知医科大学病院	片井 明子		
藤田医科大学病院	杉浦 縁	松浦 秀哲	
大阪医科薬科大学病院	平松 潔子	泉原 由美子	
関西医科大学附属病院	山岡 学	阿部 操	
関西医科大学総合医療センター	市邊 明美		
近畿大学病院	藤田 往子	前田 岳宏	井手 大輔
兵庫医科大学病院	池本 純子	奥田 典子	
川崎医科大学附属病院	仲井 富久江		
久留米大学病院	江頭 弘一		
福岡大学病院	嶋田 裕史		
産業医科大学病院	坂西 陽子		
日本大学医学部附属板橋病院	川平 宏		
順天堂医学部附属練馬病院	市川 佳世子		
順天堂大学医学部附属静岡病院	土屋 明実		
横浜市立大学附属市民総合医療センター	深川 良子		
東京慈恵会医科大学附属柏病院	長谷川 智子	市井 直美	
東邦大学医療センター佐倉病院	町田 保		
順天堂大学医学部附属浦安病院	大澤 俊也		
東北医科薬科大学病院	齊藤 梨絵	佐藤 裕李	
昭和大学横浜市北部病院	栗林 浩子	佐々木 かよ子	下山 瑞貴
福島県立医科大学会津医療センター	渡部 和也		
東海大学医学部付属八王子病院	倉島 志保	植村 茉耶	熊沢 朋美
帝京大学医学部附属溝口病院	小林 由美	福成 秀美	
獨協医科大学埼玉医療センター	鳥山 満		

MEMO